

# MAIL MAGAZINE

メールマガジン

## 廈門-福州間ついに1時間！とG688代替品のお話

### JSC 貿易部ニュース 中国編

日中は、なお暑さの名残を感じますが、朝夕の風に若干の涼しさが感じられる今日この頃如何お過ごしでしょうか。

さて、しばらく訪問できていない中国ではありますが、発展のスピードは相変わらずとても速いようです。

中国初の海上高速鉄道、福廈（福州～廈門）高速鉄道泉州湾跨海大橋の主桁が閉合（引っ付き合わさった）したというニュースが、先月報道されておりました。



この大橋の全長は20キロ程で、内9キロが泉州湾の海域を跨ぐようです。

中国版新幹線は時速300キロを超えるスピードで走るので、日本の新幹線のぞみの時速285キロよりも速いスピードで海上を走ることになります。廈門から福州までの所要時間は従来の2時間から1時間に短縮されるそうで、廈門や福州の人々にとってはものすごく便利になります。

私たちは出張時、廈門から直接福州へ行くことはほとんどありません。工場のある泉州市の崇武地区や石井地区に寄ってから行くことが多いので、車での移動がほとんどになります。なので、残念ながらこの海上高速鉄道に乗る機会はなさそうです。

でも、福州の取引先にこの大橋のことを聞くと、とても楽しみにしていました。

2022年内に開通とのことですが、開通する頃にはコロナも収束していて欲しいと思います。大橋の開通とコロナ収束を心待ちしております！

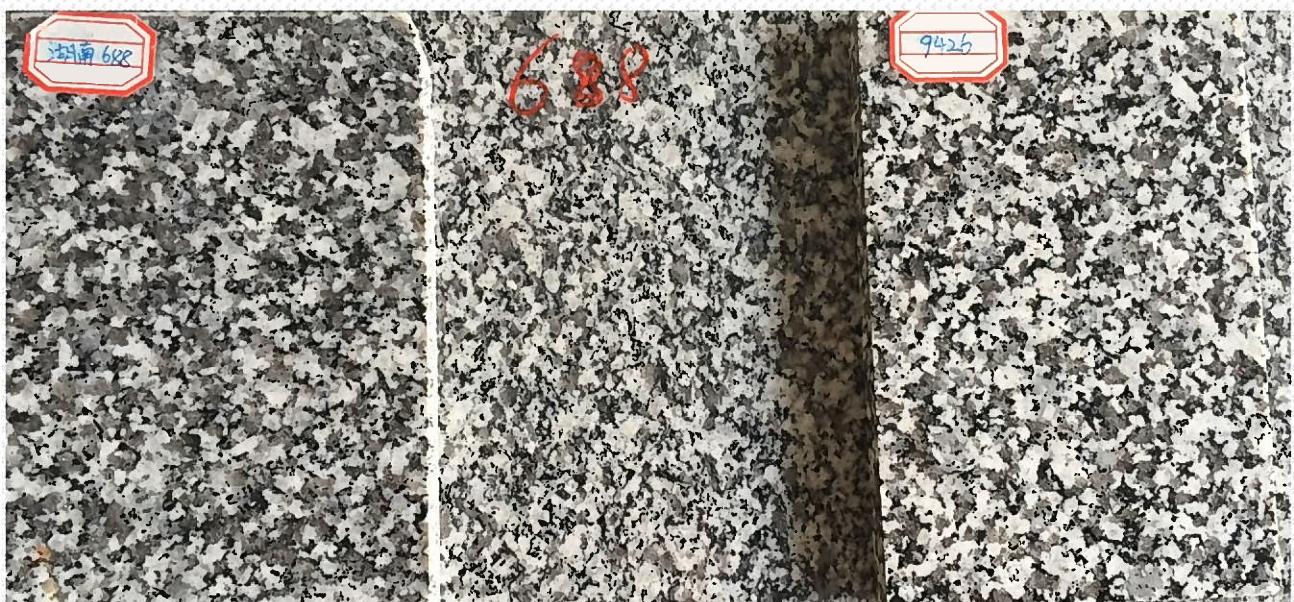
## さて、今月の石のお話です。

現在、中国の工場各社はどことも「G688」の原石在庫が少なくなっています。

工場閉鎖から2年ほどが経過し、在庫原石が残り少なくなってきたことから原石価格が高騰、どの工場も高すぎて追加購入の意志はないようです。

現時点、当社のパートナー工場には、まだ「G688」の原石がございますが、周辺の工場では在庫を使いきって代替石種を使っているところも増えてきております。

JSC貿易部では常々安定してご使用いただける石種の調査を進めていますが、今月はその中から「G688」の代替石種を2つご紹介します。ひとつは「湖南688」、もうひとつは「9426」です。



写真左から「湖南688」、真ん中が従来の「G688」、右が「9426」です。

現地社員からの「原石・製品情報報告書」の中から「G688」代替品に関する情報を一部ご紹介しますと、写真左の「湖南688」は、原石では「濃い、薄い」の色差があります。また、原石の状態では黒玉や細かい傷、緑色の細いクラックが有ります。それを製品

の生産段階で省きながら加工、一応上手く省きながら生産はできているとのことです。

長物・大材はどうかという点については、長さ12尺、角周り4尺角が取れますので、日本全国各地域の需要に対して対応が可能でございます。

この「湖南688」は、まだ使い始めたばかりの石ですので、今後も生産段階での製品の色差の状況や建立後の経年変化など、お役に立ちそうな情報が入ってきましたら、隨時ご紹介させていただきます。

もうひとつの代替候補「9426」ですが、この石は以前から使用されている実績のある石なのでご存知の方も多くいらっしゃるかと思います。短所としては、大小の黒玉が出ること。しかし、黒玉以外は色差やキズの問題が少ないので、全体的に使いやすく、「湖南688」を使わずに「9426」を「G688」の代替品としておススメしている工場もあるくらいです。



どの程度の黒玉が出るのか？という点についてですが、上の写真のように運良く黒玉が少ないケースもありますが、下の写真のように大きな黒玉が出るケースもあります。



大きな黒玉は出来る限り、見えない面や内側に回したりしますが、小さい黒玉はどうしても見えるところに出てきてしまいます。

価格の方ですが、以前は福建省の白系石種と比較すると少し高めのお値段になっていた「9426」ですが、現在は比較的お求めやすくなっています。長物・大材については、長さで10尺くらいまで可能。角周りも4尺角がとれます。

今回のメルマガでは、今後代替品として主流になりそうな「湖南688」と「9426」の2石種を、石の長所・短所を含めてご紹介いたしました。

長年安定して使用できていた福建省産の石が丁場閉鎖によって廃番となっていく状況が続いております。私たちJSC貿易部では、コロナ禍でも現地社員、パートナー工場と連携をとりながら、迅速で正確な情報提供とご提案を行って参りますので、今後も何卒よろしくお願い致します。

新型コロナウィルスの感染拡大が収まらない状況の中ではありますが、皆様のご健康と、ますますのご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

2021/09/01